

赤坂ルートダイヤ変更について

1 背景・課題

ちいばす赤坂ルートは、都営バス路線撤退後の交通手段を提供するため、平成16年から運行事業者の自主採算性により運行を開始しました。

運行開始以降、ルート変更、停留所の新設や始発便の繰り上げ等の運行改善を実施しました。しかし、利用者数は減少傾向にあり、年間利用者が30万人前後とちいばす路線の中では、麻布東に続き二番目に低く、収支率は麻布東、芝に次いで低い値になっています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者数の減少で、令和2年度の1便あたりの平均利用者数は15人以下と少ない状態です。また、1日の最大乗車人数は平日で17人、休日で16人と車両の乗車定員（35人）の半分程度となっています。

運行事業者の自主採算性により、運営されていることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による1便あたりの利用者数の減少に伴う過剰運行を抑制し、経費削減を進める必要があります。

2 変更内容

(1) ダイヤ

運行間隔を平日、土休日ともに20分から30分に変更します。

(2) 効果

- 1便あたりの利用者数が増加し、運行効率が向上します。
- ダイヤの適正化により、運転士の人件費や燃料費等の運行経費（約1,590万円）が抑えられ、収支率の向上が期待できます。
- 減便により、1便あたりの利用者が平日、土休日ともに1.5倍に増加した場合でも、積み残しは発生しません。